質疑②

町長の答弁はウソだということが、youtube　の被害者の証言で証明されています。

じつに珍しい答弁を聞かせていただきました。

これまで23回の答弁をいただいていますが、その都度、全国の関係者が畑中町長の発言を待ちわびるようにして、待っていました。

特に、畑地区の被害者の方は、毎回、電話で、「どんな顔して言ってたら」と、やり場のない悲しさ、悔しさをぶつけてきたものでした。

被害の程度には、単に「うるさい」と感じる被害から、頭痛や不眠、息苦しさ、胸苦しさ、といった耐えられない低周波被害まで、様々な症状があります。

被害者同士でさえ、「この人はどんな風に悪いんやろ」と、思うような有様でした。

ただ、由良町で引き起こされた風力発電の低周波被害は、水俣病の時と、瓜二つでした。原田正純先生の言葉ですが、「被害を見てしまった者は、その責任が生ずる」、見てしまった者の責任です。

奇病や精神疾患、先天的な病気のせいではありません。

少数の被害者を差別者に仕立てて、一般社会とは、相いれない人のように仕組まれました。

被害者たちは、どれほど悔しかったことか。

私も当事者ですからね。

もし私が議員でなかったら、ここまで、彼ら、彼女たちの言葉を伝えることができたかどうか。

そして、風力発電という形を借りて、本当は人災でしかなかった、という事実に気がつかなかったことでしょう。

最後になりますが、社会から道徳を無くすと、取り返しのつかないことになるような気がします。

風力発電事業は、悪です。

黒いものを白だと言いくるめても、作り話はすぐにばれるものだと、私は考えています。(もうバレてますけどね)

何度でも聞きます。風力発電の低周波被害を否定して、被害に苦しむ人を拒否する理由は何でしょうか。ぜひ聞かせてください。